

報道関係者各位

2023年1月17日  
No1

## 高岡市をフィールドとした「橋梁維持管理の合理化に関する研究協力協定」を締結いたしました。

高岡市と国立大学法人横浜国立大学（神奈川県横浜市、学長：梅原出、以下「横浜国立大学」）と株式会社新日本コンサルタント（本社：富山市奥田新町、代表：市森友明、以下「当社」）は、令和5年1月16日（月）に「橋梁維持管理の合理化に関する研究協力協定」を締結いたしました。

この協定は、高岡市が進める橋梁維持管理の高度化・効率化の一環として、市が管理する橋梁において、横浜国立大学と当社が橋梁の維持管理の合理化に関する研究を行うことについて、必要な事項を定めるものです。

### ■ 協定締結について

- 日時 令和5年1月16日（月）
- 場所 高岡市役所 3階庁議室
- 締結者 高岡市 市長 角田 悠紀  
国立大学法人横浜国立大学 学長 梅原 出  
（代理出席 都市イノベーション研究院 教授 細田 暁）  
株式会社新日本コンサルタント 代表取締役社長 市森 友明

### ■ 背景

高岡市が管理する道路橋は約1,150橋（橋長2m以上）あり、その多くが1970年代以前に建設され、老朽化（損傷が発生）が進んでいます。5年毎に実施している全部材近接目視による定期点検は、橋の健全性（老朽化の程度）を判定し、修繕の要否・実施時期を決める重要なものです。しかしながら、定期点検の費用が大きく固定化しているため、老朽化した橋の修繕に十分な予算を配分できていない状況が継続しています。この健全性を回復させる修繕を加速させるために、まずは、定期点検費用の削減が喫緊の課題となっております。

横浜国立大学 豊穰な社会のための防災研究拠点（研究拠点長 細田 暁）は、道路橋を含めた膨大なインフラの維持管理システムを魅力的で持続可能なものに改善するための研究に取り組んでいます。新日本コンサルタントは、長年、富山県内自治体の道路橋の定期点検業務を行い、点検の豊富な知見を有しています。そして、高岡市は多くの橋梁を抱える管理者として、市の橋の特性を把握しています。

これらを背景とし、定期点検の信頼性を確保したうえで、その方法の合理化を3者が協力して検討することとなり、高岡市をフィールドとした「橋梁維持管理の合理化に関する研究協力協定」を締結する運びとなりました。

### ■ 研究概要

本研究の基本的考え方は、1,150橋を構造形式と健全性の組合せによりグループ分けし、グループごとに、①点検において発見すべき損傷の種類、②その損傷を発見するための方法（近接目視、新技術活用、遠望目視）、③損傷の記録方法、を決めるというものです。いわば、人の定期検診の項目を全ての人に一律に決めるのではなく、健康な人とそうでない人とで検診項目を変えようというものです。例えば高岡市の橋で、健康な人に相当する橋のグループの一つとして、簡易な構造（RC中実床版橋およびカルバート）の健全性Ⅰ（老朽化していない）があります。このグループは、1,150橋の約50%を占めます。

上記の検討では、国土交通省が自治体への技術的助言として作成した「道路橋定期点検要領」（国土交通省 道路局、平成31年2月）の考え方も参考とします。

また、高岡市の道路橋で多く発生しているアルカリ骨材反応（ASR）含め、道路橋の安全性を担保した上で、損傷の修繕費用削減と補修後の再劣化の生じない持続可能な高品質化に寄与する研究にも取り組んでまいります。

報道関係者各位

2023年1月17日  
No2

高岡市をフィールドとした「橋梁維持管理の合理化に関する研究協力協定」を締結いたしました。

■ 研究体制

